

市の人口(9月1日)
人口 38,461人
男 18,320人 女 20,141人
世帯数 10,496世帯
面積 240.93平方キロメートル
発行 大洲市役所
編集 企画広報課

大洲報

健康なからだをつくり
高い教養を身につける。
○ あらゆる機会をとらえ、学習にはげむ。
○ スポーツをさかんにし、すこやかな心とからだをつくる。
(大洲市民憲章)

今日の納税 保険税 2期

南久米 改築費など決まる

九月定例市議会

九月定例市議会は、九月一日開会、九日間の会期中、同和対策事業、道路新設改良費等、四億六千八百六十二万八千円の一般会計補正予算と大洲市住宅改修資金貸付条例の一部改正など八議案を原案と可決し、陳情、請願など必要な決定をして九月九日閉会しました。議案説明の概要、可決されたおもなものは次のとおりです。

議案説明の概要

地方財政は、税収の落ち込みなどにより危機に直面し厳しいものがありますが、財政運営にあたり効率的な運用、消費的経費の節減、事業費の選択などを協力を進め、健全財政を維持しながら、当初計画に從つて次の施策の実現を図つてまいります。

市民みんなが、安らぎと生がいのある地域社会を建設するため、同和対策長期計画による同和対策事業の推進をはじめ、児童福祉向上のための南久米保育所の改築、重度身体障害者に対する福祉手当の支給、身障者、老人家庭奉仕員の処遇改善を図っていきます。その他、おもな事業としては、市道の改良補装、都市下水路の整備を、上須戒診療所の改築、平小学校屋内運動場の建設などを行っていきます。

一般会計補正予算
補正総額は、四億六千八百六十二万八千円(累計は四億三千二百五十五万九千円となります)のうち歳出のおもなものは、

▽災害復旧費 一千二百三十三万円
農林施設災害復旧工事請負費

▽教育費 三千八百三十万円
平小学校屋内運動場建設事業

▽農林水産費 五百三十六万一千円
農林施設災害復旧工事請負費

▽土木費 七千七百七十七万二千円
道路新設改良費、下排水改良事業費

▽社会福祉費 一億七千二百七十二万一千円
同和対策事業費、重度障害者福祉手当、南久米保育所改築事業費

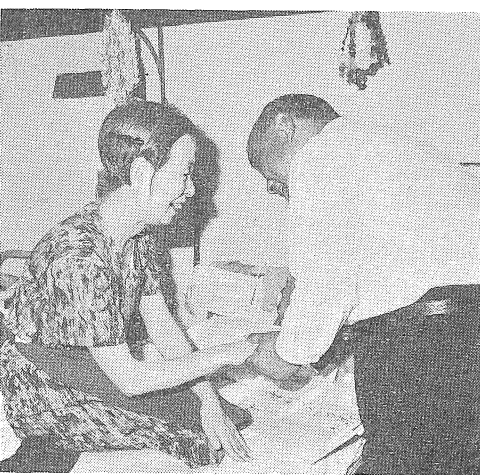
△歳入 一億七千二百七十二万一千円

市内田口にある、大洲市特別養護老人ホーム(五十人)から介護を要する老人五十四人(養護老人ホーム「とみすけ」の開業に伴い)が、九月一日から同ホームに移転し、二十四時間体制で介護を受けることになりました。同ホームは、大洲市や喜多郡などから移転した老人五十四人を、二十四時間体制で介護することになりました。

寝たきり老人慰める

開設四周年特別養護老人ホーム

市内田口にある、大洲市特別養護老人ホーム(五十人)から介護を要する老人五十四人(養護老人ホーム「とみすけ」の開業に伴い)が、九月一日から同ホームに移転し、二十四時間体制で介護を受けることになりました。同ホームは、大洲市や喜多郡などから移転した老人五十四人を、二十四時間体制で介護することになりました。



励ましのことをかける村上組合長

会計別補正予算額(単位千円)

会計別	現計予算額	補正予算額	累計
一般会計	3,563,941	468,618	4,032,559
特別会計	1,090,010	20,081	1,110,091
事業会計	751,223	6,000	757,223
計	5,405,174	494,699	5,899,873

新しい農業委員決まる

任期満了に伴う大洲市農業委員会委員の選挙は、九月八日に告示されましたが、各選挙区とも立候補者が委員の定数をこえたため十九人は無投票で当選が決まりました。なお、農業委員会等に関する法律第十二条第一号委員(一人)農業協同組合、農業共済組合が推せんした者、同条第二号委員(一人)議会の推せんした学識経験者の計二十二人の新しい農業委員は次のとおりです。

- 第一選挙区(定数五人)
尾上 昇 (徳森)
玉木 三郎 (菅宮)
岩田 重喜 (西大洲)
西山 頼幸 (五郎)
武田 芳明 (田口)
- 第二選挙区(定数三人)
垣内 一則 (長谷)
平塚 千秋 (野佐来)
宇都宮 敏伯 (平野町野田)
- 第三選挙区(定数四人)
辰野 富朗 (蔵川)
黒田 一郎 (成能)
- 第四選挙区(定数四人)
大野 豊 (菅田町菅田)
大田 雅志 (菅田町大竹)
竹田 豊記 (新谷)
袖岡 光徳 (新谷)
高岡 寿美夫 (田口)
山形 茂光 (田口)
- 第五選挙区(定数三人)
久保 幸一 (八多喜町)
岡田 雄 (春賀)
上田 喜重 (上須戒)
- 第六選挙区(定数一人)
上川 好邦 (上須戒)
尾上 利則 (徳森)
- 第七選挙区(定数一人)
土 桑 第二号推せん (徳森)
大森 重徳 (徳森)

がん征庄月間運動

9月1日から9月30日まで

「がん征庄月間運動」を九月一日から九月三十日まで、全国的に実施し、がんに関する正しい知識の普及啓発を図っています。

「がん征庄月間運動」は、早期発見、治療を受けなければ、日か九月三十日まで、全国的に実施し、がんに関する正しい知識の普及啓発を図っています。

がんにかかれば死ぬものとされ、がんは怖い病気です。今では、がんも治すことができるようになっています。

早期発見、早期治療で治すことが大切です。

医学の進歩により、レントゲン検査や顕微鏡検査など特別な方法でがんを早期発見することができるようになっています。

がんは早期発見すれば治る率が高くなります。

がんの初期は普通自覚症状がなければ、がんは怖い病気です。今では、がんも治すことができるようになっています。

早期発見、早期治療で治すことが大切です。

医学の進歩により、レントゲン検査や顕微鏡検査など特別な方法でがんを早期発見することができるようになっています。

がんは早期発見すれば治る率が高くなります。



富士山展望台で熱心に説明を聞く参加者たち

第一回施設めぐり

住民参加の都市づくり

大洲市では、八月二十七日、大洲商工会議所婦人部員を対象に第一回施設めぐりを開催しました。この施設めぐりは、広聴活動の一つとして、市政を広く市民に公開し、正しく理解していただくために、市民の声を市政に反映して新しいまちづくりを進めるために開催したものです。

施設めぐりには五十二人が参加し、午前九時半、消防署前に集結して同署を見学したあと、市のマインクス(二)に分乗し、昨年末に完成した国立大洲青年の家、運動公園を見て回り、恵まれた自然環境、施設の大さなどに参加者は目をみはっていました。

市民会館では、村上市長を囲んでの話し合いがあり、市長から市の財政のことをはじめみんなの意見を聴いて市政を進めていきたいなど市政全般についての話しを聞きました。

屋敷のあと、富士山、松下寿庵子、清流園を見学、有意義に第一回施設めぐりを終わりました。

なお、市では住民参加の行政を推進するために広聴活動の一つとして「施設めぐり」をはじめ「二日市役所」、「身のまわり行政懇談会」、「市政教室」などを、地区又は各種団体を対象に開催するよう計画していますので、ご協力を願います。

共同募金運動はじまる

みんなの胸に赤い羽根を

国民助成金、赤い羽根共同募金が今年も十月一日から全国一斉に行われます。

今年で二十九回を迎える、この運動もみなさまの温かいご支援、ご協力を得まして年々充実し、今日の社会に欠くことのできない大切な役割を果たしております。

この募金は、助け合いの尊い精神をもとに行われ、みんなの幸せのために、社会福祉施設の整備や、恵まれない人々に対する援助をはじめ、地域社会の福祉の向上に役立っています。

この運動に、各ご家庭で、又は職場で温かいご協力をお願いいたします。

大洲市共同募金会



中高年齢者の雇用促進運動

強調月間 10月1日～10月31日

最近、新規学校卒業生など若い労働力は年々減少する反面、中高年齢求職者(四十五歳以上)は増加してきており、労働力不足が深刻化しています。

労働力不足を補うためには、中高年齢者の雇用促進が不可欠です。

大洲市では、母子保健を推進するため、妊婦の一般健康診査を医療機関に委託して行っています。

この診査は、妊婦の出産により妊娠の前半と後半の二回、無料健康診査をお渡しして、次のような健康診査を行います。

一、梅毒血清反応検査
二、血色素検査
三、血圧測定
四、尿化学検査(糖、蛋白定性)
五、血液検査(ABO式血球計算)
六、保健指導

妊婦の出産は、早目に市役所保健衛生課又は連絡所へしていただき、健康診査を受けることができます。

母子保健シリーズ(1)

妊婦一般健康診査について

最近、新規学校卒業生など若い労働力は年々減少する反面、中高年齢求職者(四十五歳以上)は増加してきており、労働力不足が深刻化しています。

労働力不足を補うためには、中高年齢者の雇用促進が不可欠です。

大洲市では、母子保健を推進するため、妊婦の一般健康診査を医療機関に委託して行っています。

この診査は、妊婦の出産により妊娠の前半と後半の二回、無料健康診査をお渡しして、次のような健康診査を行います。

一、梅毒血清反応検査
二、血色素検査
三、血圧測定
四、尿化学検査(糖、蛋白定性)
五、血液検査(ABO式血球計算)
六、保健指導

妊婦の出産は、早目に市役所保健衛生課又は連絡所へしていただき、健康診査を受けることができます。

印鑑登録の切り替え実施中

節水にご協力ください

改正前の規定で現在(六月三十日まで)登録されている印鑑登録は、十月三十一日まで抹消されます。十一月一日以降、印鑑登録の交付を申請する場合は、新しい印鑑登録が必要となります。

十一月一日からの新しい印鑑登録は、従来の直接証明方式から間接証明方式に変わり、より正確、迅速な事務処理となりますので、印鑑登録の切り替えにご協力ください。

水は大切な資源です。節水にご協力ください。

